



学校教育目標「溢れる英知 輝く笑顔」～学習いっぱい 優しさいっぱい 元気いっぱい～

## 「春よ来い」

校長 田代敏生



「私は誰？」 6組スキー教室にて

まだまだ寒い日もありますが、陽の光に春の気配を感じる季節となりました。保護者、地域の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。

2年生は、2月1日(水)から3日(金)まで、福島県南会津郡南会津町(旧館岩村)にあるさいたま市立館岩少年自然の家に2泊3日の日程で宿泊し、自然の教室(スキー実習)を行いました。天候にも恵まれ、スキーが初めてという生徒も3日目は見違えるほどに上達したようです。また、6組は、2月9日(木)・10(金)の1泊2日の日程で、新潟県湯沢町の岩原高原スキー場でスキー教室を行いました。2日目は、一時吹雪となりましたが、ソリ遊びにみんなで夢中になりました。

一方、3年生は、中学校生活の集大成としての進路選択の最後の山場である県公立高校の学力検査に、いよいよ明日3月2日(木)に臨みます。翌3日(木)には、一部の高校ですが、面接・実技試験が実施されます。本年度の県内の中学校の卒業予定者は約66,000人。この内、県内の全日制の公立高校を希望し出願をした生徒は46,619人。一方、普通科、専門学科(工業や商業など)、総合学科を合わせた全日制の公立高校の入学許可予定者数は、39,121人ですから、平均の競争倍率は昨年度とほぼ同様の1.19倍となっています。中には、2倍に近い高倍率の高校もあり、それだけに不安も多いと思いますが、落ち着いて日頃の学習の成果を十分に発揮して欲しいと思います。合格発表は、10日(金)午前9時です。既に進路が決定している生徒も含め、全員の進路希望が実現するよう期待したいと思います。

ところで、この時期、思い出されるのが「春よ来い」の歌です。東日本大震災後の復興応援ソング「(みんなの)春よ、来い」を松任谷由実さんが歌い、多くの人々の心に響きました。童謡「春よ来い」もずっと忘れられない歌です。童謡や昔話をいつまでも忘れないのはなぜなのか、不思議です。「春よ来い」が、「春が来た」になる日ももうすぐです。

三月は卒業、そして進学、進級に向けた準備の月になります。生徒の皆さんは、この一年間を振り返り自分自身の成長を確かめるとともに、新年度に向けて決意や目標を定めて欲しいと思います。学校においても、保護者の皆様にもご協力いただいた学校評価の結果をもとに、改善すべき点、新たに取り組むべき点などを現在取りまとめているところです。その概要につきましては裏面に掲載しましたが、学校HPにもアップの予定です。

最後になりましたが、保護者、地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。来年度も、全教職員が力を合わせ、学校教育目標「溢れる英知 輝く笑顔」の実現を目指して努力してまいります。よろしくご協力いただきますようお願いいたします。

「春よ来い」 作詞：相馬 御風  
作曲：弘田 龍太郎

1. 春よ来い 早く来い  
あるきはじめた みいちゃんが  
赤い鼻緒(はなお)のじょじょはいて  
おんもへ出たいと 待っている
2. 春よ来い 早く来い  
おうちの前の 桃の木  
蕾(つぼみ)もみんな ぶくらんで  
はよ咲きたいと 待っている

